

満足の決め手は「楽しさ」と「自信」

20代ひとり暮らし女性の洗濯

生活者研究センター
 研究員 牛尾 香織

生活者研究センターでは、洗濯に関するさまざまな生活者調査を継続的に実施していますが、今回は、20代ひとり暮らしの女性にスポットを当て、その洗濯行動を探りました。家庭訪問とインターネット調査を行ったところ、同じような洗濯習慣でも、満足度に差があることがわかりました。本レポートでは、彼女たちの洗濯行動とその「おもい」について報告します。

トピックス

- 洗濯回数は約7割が週2回以下、時間帯は夜洗濯中心
- 頻度や使用コースなど、洗濯習慣は同じでも満足度に違いあり
- 満足度の高い洗濯に必要なのは「楽しさ」と「自信」

【調査概要】

「20代ひとり暮らし女性の暮らし・洗濯」

調査期間：2013年10月

調査方法：家庭訪問インタビュー調査

調査対象：首都圏在住20～30代単身女性

対象者数：12人

調査期間：2014年2月

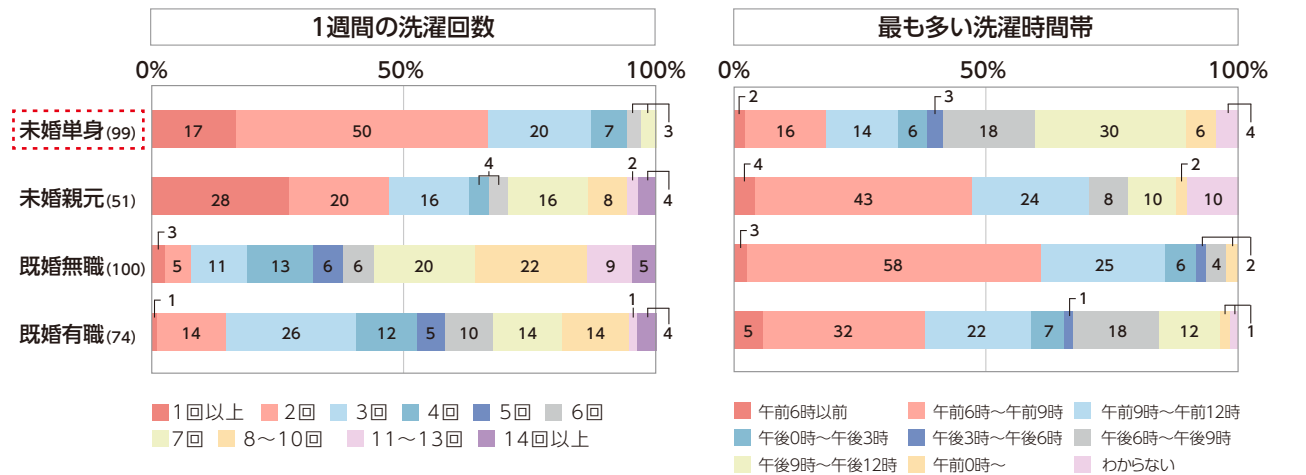
調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏在住20～40代女性

回答者数：1,175人

洗濯回数は約7割が週2回以下 時間帯は夜洗濯中心

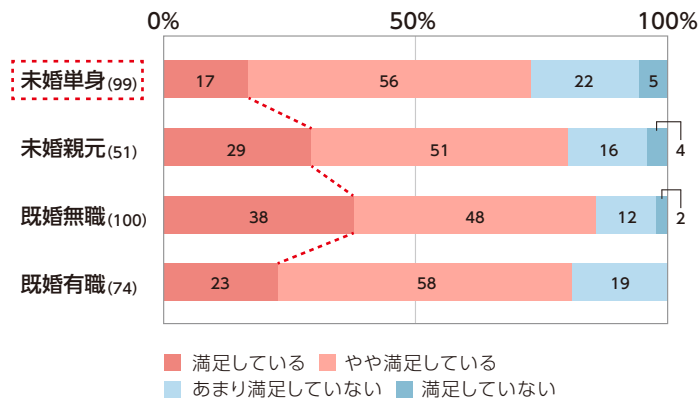
調査から20代女性の洗濯行動を見ると、1週間の洗濯回数は、ひとり暮らしの約7割が「週2回以下」で、同年代の他のライフステージと比べて、少なくなっています。また、洗濯を行う時間帯は、他のライフステージは午前中のうちに済ませてしまう「朝洗濯」が多いのに対し、ひとり暮らしでは午後6時以降が半数を超え、午後9時以降は4割と「夜洗濯」を中心に、時間帯が分散していることがわかりました。このことから、20代ひとり暮らし女性は、自分の時間優先で自由に洗濯をしているようです(図1)。



(図1) 20代女性の洗濯行動

首都圏在住20代女性 324人(花王調べ)

また、洗濯満足度は、「満足」「やや満足」を合わせると73%でしたが、明確に「満足している」と回答した人は17%にとどまり、家族の洗濯物などの負担が大きい既婚女性と比べても低めでした(図2)。



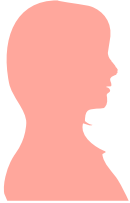
(図2) 20代女性の洗濯満足度

首都圏在住20代女性 324人(花王調べ)

洗濯の回数や時間帯、使用コースなど、洗濯習慣はほぼ同じであるにもかかわらず、洗濯満足度の異なる20代ひとり暮らし女性の洗濯行動とその「おもしろい」について、紹介します。

20代ひとり暮らし女性の洗濯事情 洗濯習慣は同じでも満足度に違いあり

事例 1



洗濯満足度80点のMさん

「手洗い洗濯」は楽しいし、「洗濯をちゃんとやっている」という気分になれて満足!

Mさん(29歳) 事務職 ひとり暮らし歴4年

○ 普段の暮らしぶり

平日の生活	出勤準備	5:30 起床、朝食、お弁当作り、ニュース見ながらメイク
		6:30 家を出る
		7:30 会社につく、新聞を読む
		8:30 仕事
	仕事	12:00 会議室で弁当
		13:00 仕事
		18:30 退社
		19:00 カフェで勉強・軽食
	自由時間	21:00 帰宅、シャワーの合間に洗濯、入浴後に干す
		22:00 スキンケア&TV、ネットサーフィン
	23:00 スマホでメール	
	24:00 就寝	

洗濯習慣

洗濯頻度：週2~3回
洗濯コース：標準、またはドライ
洗濯時間帯：平日夜、休日朝

洗濯行動とおもい

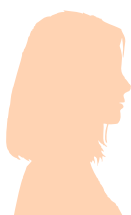
	行動	おもい	
準備	●ハンガー・洗濯バサミ・洗濯ネットはお気に入りですべて統一する。	●可愛いグッズを使うと楽しい!	
洗う	●好きな香りの洗剤で、休みの日にゆっくり手洗い。	●水遊びみたいで楽しいし、「私ちゃんと洗濯されてるなあ」って感じて、満足!	
干す	●乾きやすいように間隔を開けて干す。さらにハンガーが動かないように洗濯バサミで固定。	●母と同じやり方だと、「合っているな」って安心して洗濯できる。	
取り込む たたむ	●取り込んだら、すぐにたたむようにしている。	●柔軟剤の良い香りがして、ふわっと幸せな気分!	
しまう	●収納しきれない洋服は、ショップのディスプレイみたいに可愛く飾る。	●お部屋も可愛くなって、うれしい!	

気分があがる可愛いグッズ

好きな香りの洗剤・柔軟剤

手洗いで、自分に自信

事例 2



洗濯満足度 20 点のKさん

CMで、“落ちない汚れ”、“しつこいニオイ”などのフレーズを聞くと、やっぱり難しそうって思っちゃう。自分は洗濯をちゃんとやっているか不安。

Kさん(25歳) 事務職 ひとり暮らし歴7年

○ 普段の暮らしぶり

平日の生活	出勤準備	6:30 起床、メイク、朝食
		7:40 家を出る
		8:30 会社につく、仕事
	仕事	12:00 デスクでランチ
		13:00 仕事
	自由時間	17:30 退社
		18:30 スーパーで買い物
		19:30 帰宅
		20:00 シャワーの合間に洗濯
		21:00 TVみながら夕ご飯、ぐだぐだする
		22:00 パソコン・スマホいじる、マッサージ・ストレッチ
		23:00 洗濯物を干す
24:00 就寝		

洗濯習慣

洗濯頻度：週2~3回
洗濯コース：標準、またはドライ
洗濯時間帯：平日夜、休日朝

洗濯行動とおもい

	行動	おもい
準備	● 洗剤の多くは母が買ってきてくれたもの。	● それぞれの洗剤の違いがわからない。漂白剤やおしゃれ着用洗剤って、いつ使うの？
洗う	● タオルは標準コース・それ以外はドライコース。	● 両方同じくらい溜まっていると、どっちをやるのが悩んでしまうのがいや。
干す	● 部屋の入口に室内干し。狭いので干せる量が限られていて、毎回洗う量を調節。	● どのくらいがちょうどいいのかわからない。
取り込む たたむ	● 室内干しして乾く時間が毎回違う。	● いつ取り込めばいいか判断がむずかしい。
しまう	● スペースが足りないから、適当に収納。結果、ぐちゃぐちゃに。	● 洋服がシワシワでみっともないし、どこに何があるかわからなくて困る。



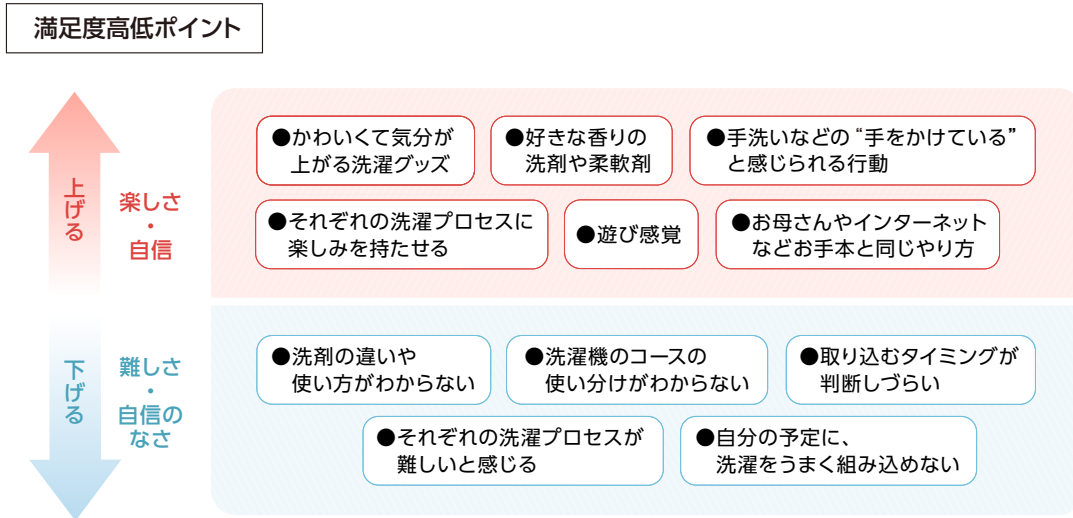
狭いスペースでの室内干し



整理できていない引き出しの中

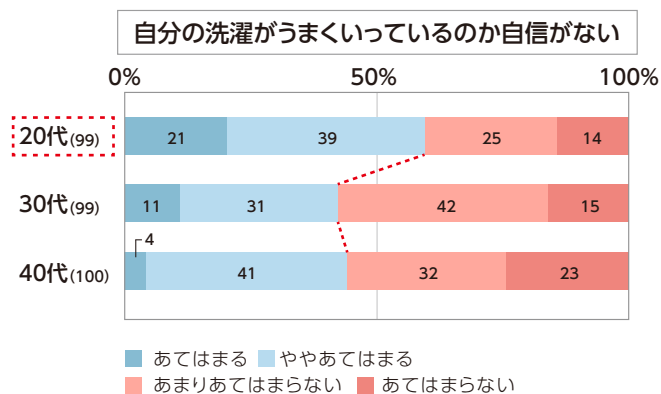
満足度の高い洗濯に必要なのは「楽しさ」と「自信」

家庭訪問で聞いたさまざまな声をまとめてみると、洗濯満足度が高い人は「楽しさ」と「自信」、低い人は「難しさ」や「自信のなさ」がそれぞれポイントとなっていることがわかりました。



「楽しさ」を感じるためには、「可愛い洗濯グッズ」、「いい香り」、「遊び感覚」など、洗濯中の気分を盛り上げるささやかな工夫が取り入れられていました。また、「自信」を得るためには、専用洗剤を使った手洗いなど「手をかけている」と感じられる行動や、インターネットで見つけた情報や母親がやっていた「お手本どおり」と感じられる洗濯行動が有効であることがわかりました。一方、「難しさ」「自信のなさ」のもととなっているのは、洗剤の使い方・コースの使い分けなどを理解できていないことや、工程が多く時間のやりくりをしづらいつと感じていることなどでした。

「自分の洗濯がうまくいっているのか自信がない」と感じる20代ひとり暮らし女性は、他の年代に比べても高い傾向にありました(図3)。



未婚単身女性 298人(花王調べ)

(図3) 自分の洗濯に対する自信

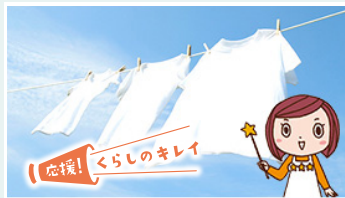
難しいと感じることや自信のなさから、洗濯満足度が他より低めの20代ひとり暮らし女性。楽しくなる工夫や洗い方を知り自信をつけることが、洗濯満足度をアップさせてくれるはずです。

【ちょっとの工夫で苦手を克服！洗濯満足度アップへの近道】

- 思わず手に取りたくなるような可愛いボトルや洗濯グッズで気分がアップ。好みの香りの柔軟剤を選べば、干すときにも、たたむときにも幸せ感が広がります。
- 夜洗濯派には、スピードコースでも洗える洗剤がおすすめ。時間短縮になるので洗濯の億劫感が軽減されます。
- 部屋干しには、防臭効果のある柔軟剤でイヤなニオイを防ぎましょう。
- 時間があるときは、お気に入りの服は手洗いして、心もお洋服もハッピーに！



お洗濯の第一歩、まずは基本をマスター！



応援! くらしのキレイ お洗濯の基本の「キ」
ひとり暮らし、家事ビギナー必見!お洗濯バイブル

▶ <http://www.kao.co.jp/lifei/support/01/>

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。